

(18)(19)(20)

若草三丁目・四丁目・五丁目自治会

自治会加入率

【若草三丁目自治会】

加入世帯数 377世帯 / 総世帯数 468世帯

加入率 80.6%

【若草四丁目自治会】

加入世帯数 470世帯 / 総世帯数 581世帯

加入率 80.9%

【若草五丁目自治会】

加入世帯数 214世帯 / 総世帯数 305世帯

加入率 70.2%

自治会の紹介

①活動内容について

若草三・四・五丁目自治会は、世帯数の増加と昭和58年4月の住居表示変更に伴い、旧若草町三区自治会が分割され発足いたしました。納涼大会・レクレーション・秋祭り・防火防犯診断の開催や資源ごみ集団回収・若草三区公民館の保守管理など旧自治会で行っていた伝統は、現在まで28年間に亘り引き継がれ、旧自治会内との融和と住民相互の親睦を目的に若草三・四・五丁目自治会と協力して各種の行事を行っています。

【納涼大会】毎年8月に若草三区公民館広場で盆踊りを実施。今年で45回目を迎え、近隣近在の方々も楽しみにしている行事のひとつです。二日間で延べ1,200名以上の方々が入場し親睦を深めている。

【秋祭り】旧開拓祭りは戦後の食糧増産の国策により若草の地に入植された先人の方々のご苦勞を偲ぶとともに、現在の街の発展に感謝をして毎年11月23日の勤勞感謝の日に若草三区公民館で開催。焼きそば・おでん・甘酒等を自治会・育成会役員自らが調理して無料で住民の方々(300名)に振舞っている。

自治会の紹介

①活動内容について

【防火防災診断】年末の犯罪防止と火災予防を目的に警察署・消防団と連携し、毎年12月の第1土曜日の夜、自治会役員・各種団体役員50名が6班に分かれ、拍子木をたたいて防火を呼びかけながら、自転車や車両の施錠確認をして各家庭を巡回。出火や盗犯罪の予防に役立ち、安全で安心な街となっている。

【高齢者の居場所づくり】高齢者の方々の引きこもり防止と健康の維持増進を目的に、平成22年6月21日から月・水・金曜日の午前中、若草三区公民館を開放し、囲碁・将棋・オセロ・マージャン・輪投げ、などを楽しんでもらっている。併せて、健康講座や介護相談も定期開催している。参加者はそれほど多くはないが新しい試みとして注目されている。

②高い加入率を維持する秘訣

【若草三丁目自治会】

現在はマンションやアパート・宅地開発による住宅等の建設が行われる前に、関係者に面談をし、入居者募集の広告物（チラシ・新聞広告など）には必ず自治会加入（自治会費・年間3600円）を条件とする旨を明記していただき、尚且つ、最初に入居される方から輪番制で班長さんになっていただくよう営業担当者にも周知をお願いしている。また、賃貸のアパートやマンションに入居される方には管理会社で家賃とともに自治会費を併せて徴収していただくようにしている。法人等の各社から特別会費（年間10,000円）としてご協力をいただいている。

しかしながら、学生専用アパート等もあり、自治会加入率を高めるのは容易ではないのが現状であるが、現在の加入率は役員・代表班長・班長各位のご協力と住民方々のご理解の賜物であると感謝をしています。

【若草四丁目自治会】

自治会員加入促進月間を設け、自治会役員各位の協力の下、未加入世帯の勧誘を図っている。

旧若草町三区自治会設立以来の自治会役員の努力による住民とのコミュニケーションや交流が各種の行事を通して良好な関係を築き継続させてきたことが、一番良かったのではないかと。

【若草五丁目自治会】

今まで、加入率について余り関心がなかったのですが、自治会活動表彰を応募するにあたり、今後は、80%台の加入率をめざして、自治会役員共々でアパートなどに居住している未加入世帯への入会の働きかけや新築中のデベロッパへ自治会加入促進の協力要請を積極的に行っていかなければならないと考えています。また、各種イベントなどで未加入者の方々へ加入の呼びかけをする。

保存

6月21日（月）から
毎週
月・水・金曜日の午前中
若草三区公民館を開放
（大人の居場所）
ふれあいサロン
始めます。

自宅に引きこもることなく、健康で生きがいをもって生活できるよう、若草三区公民館を「ふれあいサロン」として無料開放することになりました。

安全で安心な住み慣れた街で、地域社会と共に楽しくふれあい、自立した生活を長く続けていただきたいと願っております。どなたでも参加できる「憩いの場所」です。あなたも、公民館に来て楽しんでください。

〈若草3・4・5丁目自治会〉

- ◇主催 若草自治会連絡協議会
若草3・4・5丁目自治会
- ◇場所 若草三区公民館
- ◇時間 午前9時00分～12時00分
- ◇参加資格 どなたでも
- ◇参加費 無料（経費は資源物集団回収
報奨金を充当）
- ◇室内遊具 将棋、囲碁、オセロ等
趣味や特技を生かしたサークルも
計画されています。



第43回若草盆踊り大会

八月五日(水)・六日(木)の両日、若草自治会連絡協議会主催の第43回若草納涼大会が若草三区公民館において、天候にも恵まれ盛大に開催されました。

若草の盆踊り大会は若草の発展と住民相互の親睦・融和、子どもたちの育成を目的に、旧若草町三区自治会(現在の若草三・四・五丁目自治会)が当時の開拓農家や青年団・子ども会・婦人会・商店など多くの方々に協力を仰いで、昭和42年に第一回目の盆踊り大会が行われ、翌年には、寄付金で明治百年を記念した大太鼓を購入。



これを契機にお囃子会(現在の若草おはやし愛好会)が発足し、現在まで受け継がれてきました。今を生きる私たちは、こうした恩恵に感謝しつつ過去から受け継いだ歴史や文化を未来へ繋いでいく責任があります。これからも役員一同一致協力して地域の発展に努力をしていきたいと思えます。

若草自治会連絡協議会

会長 斉藤 正



犯罪のない街を目指して

「防火防犯診断」行われる

若草3・4・5丁目自治会(若草自治会連絡協議会)は、「防火防犯診断」を十一月四日(土)午後八時から、宇都宮市消防団第十分団と宇都宮中央警察署戸祭交番の協力により行った。

毎年年末年始になると大切な財産を狙う空き巣や火災などが多発します。

こうした犯罪を防止するため年末恒例の特別警戒として実施されました。

「防火防犯診断」には、警察官2名・消防団員5名、自治会・子



ども会育成会・交通安全協会若草支部の役員五十名が、各家庭を回り車両等の施錠や戸締りの確認と家の周囲に燃えやすいものを置かないようパトロールを行い、子どもたちは拍子木を叩きながら、大きな声で「火の用心」・「火の用心」と呼びかけていました。

巡回終了後、「若草三区公民館」へ戻り、クローバーの会若草三丁目会員3名によるおいしい「すいとん」が参加者に振舞われた。